

# 無責任 五十九号

氷柱

凍っていく

温かいはずの過去  
美化された思い出の隙間から  
出てしまった真実の芽  
僕はただ道具だった  
折れてしまうあの日まで  
決して熱は注がれていなかった  
蓋ができないなら  
凍らせてしまえ

清水らくは

偽りを許さない  
魂の中心で  
氷に包まれていく  
幾年かの積木  
誰も触れられない  
透明な鎧の中で  
本来の温度を  
取り戻していけ  
伸びていけ氷の柱  
僕の魂がすり減って  
消えてしまう未来まで  
決して溶けないで  
凍っていく

あの鳥もこおりが溶けていくようにいつかは水に変わってしまう

浮島

無責任 五十九号

責任者 清水らくは

副責任者 浮島

発行日 二〇一七年一月一日

発行 無責任 zone

使用フォント DFP ロマン雪 W9

MS明朝

<http://borderspoem.seesaa.net/>